

インターバンクの声（2016年10月20日）

前日には増加予想も出ていた米エネルギー情報局(EIA)の週間石油統計だったが、昨日発表された実際の在庫は525万バレルの減少となり、ニューヨーク原油は一時バレル52ドル近くまで上昇した。この原油価格の上昇で、ニューヨーク時間では普段あまり大きな動きを見せない豪ドルに買いが入っていた。これより前に発表されていた9月の米住宅関連指標は、着工件数が大幅に市場予想を下回った一方で、許可件数が予想を上回り、強弱入り混じる内容となったことで、市場もなかなか反応し難かったようだ。週明けはバンク・オブ・アメリカ、翌日のゴールドマン・サックスも債券部門が好調で好決算を発表していたが、昨日のモルガン・スタンレーも好調な決算を発表した。ニューヨーク株式市場はさらに大きく上昇するかと思われたが、消極的な売り上げ見通しを発表したインテルが大きく売られたことで上値が抑えられてしまった。結局、昨夜のニューヨーク為替市場も中盤からは動きが小さくなってしまったが、興味が薄れたとは言っても、今日アジア時間の午前中に予定される米大統領選の第3回テレビ討論会と、夜に行われる欧州中央銀行(ECB)理事会を控えており、一応市場も2つのイベントの成り行きを確認したいのだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。